

Press Release
報道関係者各位

2023年9月8日
日本公認会計士協会

第44回日本公認会計士協会研究大会開催について

日本公認会計士協会は、2023年9月8日に第44回研究大会をロイトン札幌（北海道札幌市）において開催いたしました。

この研究大会は、公認会計士、外部有識者、実務家等の研究成果等を全国から参集した公認会計士の前で発表し、社会との交流を深め、知識の吸収や資質の向上そして社会的発言の場とすることを目的として、1979年から開催しているもので、研究大会が北海道にて開催されるのは2004年の第25回大会以来となります。

44回目となる今回は「多様性に挑む公認会計士～期待と信頼を胸に」をメインテーマとし、非財務情報の信頼性を確保するために公認会計士の監査・保証の知見を活用しようという動きが出てきているなど、公認会計士へ「多様性」への対応が求められる中、その期待に応えていくための一助となる10テーマの研究発表を行い、約900名が参加しました。

また、研究発表に先立ち、開催地に関わりの深い外部講師を招いての記念講演も開催しており、今回は新保 史生氏（慶應義塾大学総合政策学部教授）から「AI・ロボットで変わる社会の仕組み」をテーマにご講演いただきました。



開会式で挨拶する茂木哲也協会展長



新保氏による記念講演会の模様

以上